

はじめに

～「森・里・街がきらめく
ふるさと 南丹市」をめざして～



南丹市長

佐々木 稔納

様々な課題を乗り越え住民の英知と情熱を結集し新しい時代を切りひらくべく、平成18年1月1日南丹市が誕生しました。

本市は京都市に次ぐ広大な面積を有し、四季の彩りに満ちた美しい清流とその水源をかん養する森、農林産物の恵みをもたらす里のきらめき、人情味にあふれ来訪者の心を癒すふるさとの原風景、都市圏近郊の好条件を活かし利便性を一層高めている中心市街地、高い理想と個性あふれる多くの大学等の立地など、異なる様々な顔を持っています。

これらの多面的で多彩な特長を一層際立たせて市のオリジナリティを高めるとともに、市民の感性あふれる視点が活き、高齢者や障がいのある人の願いが尊重され、そして子どもたちの夢が豊かに育まれるまちづくりが重要です。

そこで、本総合振興計画では、これらの想いを大切に、かけがえのない“ひと”と“もの”を南丹市の宝としていっそう磨いていくため、「みんなの笑顔 元気を合わせ 誇りときずなで未来を創る」をまちづくりのテーマとし、市の将来イメージを「森・里・街がきらめく ふるさと 南丹市」と掲げました。

少子高齢化の著しい進行と人口の減少、地域経済や地域産業の低迷、都市と地方の格差の広がりなど、行財政を取り巻く状況は大変厳しいものがありますが、きらめくふるさと南丹市を市民の誇りとして内外へ情報を発信し、市の価値を高め、人々が住んでよかったと実感できるまちづくりを、市民と行政のパートナーシップにより実現してまいりたいと存じます。

本計画を策定するにあたり、大変熱心なご審議をいただきました審議会委員、市議会議員の皆様、そして数々の貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様方に、心からの感謝を申し上げます。

平成20年3月